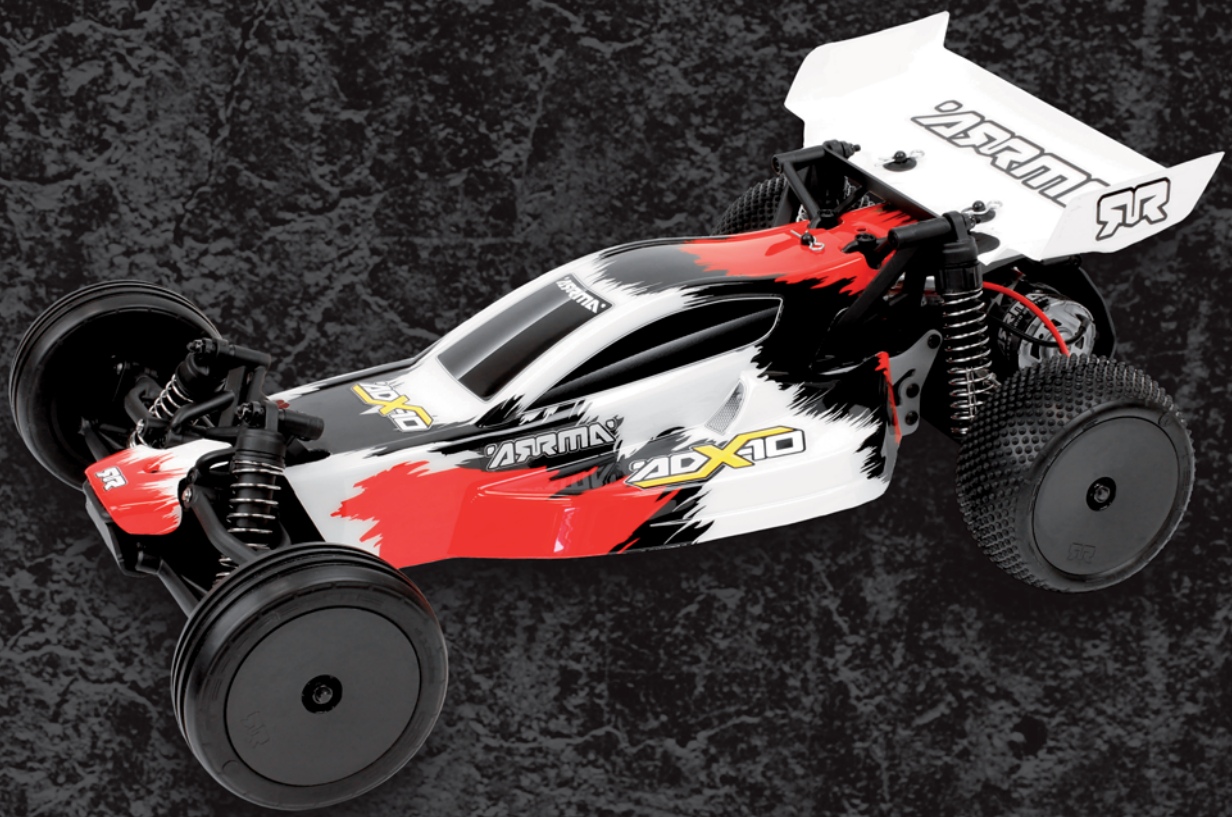
ADX-10

オーナーマニュアル



日本語

ARRMA

Ver 3
380007

目次

	ページ
キットの概要	3
パーツ	3
キット付属品	3
別途ご用意頂くもの	3
バッテリーの充電	4
バッテリーの装着	4
走行前の確認事項	4
ARRMA 送受信機	5
概要	5
調整	5
MEGA スピードコントローラー	6
概要と調整	6
調整	7
走行の基本事項	7
走行後の確認事項	8
基本的なメンテナンス	8
スリッパークラッチのセットアップ	8
サポート情報	8
基本的なトラブルシューティング	9
トラブルシューティング表	9
展開図	10

ありがとう

この度は ARRMA 製品をご購入頂き、誠にありがとうございます。当社の製品はすべて最高水準の技術と材料を駆使して開発されたものです。新製品はすべて広範囲に渡るテストを行い、高水準な耐久性と品質を維持しております。

本製品の走行やセットアップに関するお問い合わせは当社のホームページをご覧ください (ARRMA-RC.com または GOFORIT-RC.com フォーラム) 。

覚えている - 私たちは、 RADIO CONTROL

注意 – ご使用前にお読みください。

本製品はおもちゃではありません。本製品は高性能ラジオコントロールモデルカーです。取扱いには十分な注意が必要です。製品を安全にご使用いただく事はお客様の責任です。キットである為、14 歳未満のお子様が使用される場合には必ず保護者の監督の下に使用してください。本製品をお子様が使用される際には必ず保護者の監視下で走行、メンテナンスを行ってください。安全にご使用いただく為にオンライン ARRMA-RC.com/GO 内のウェルカムパックにてガイダンスをご確認ください。

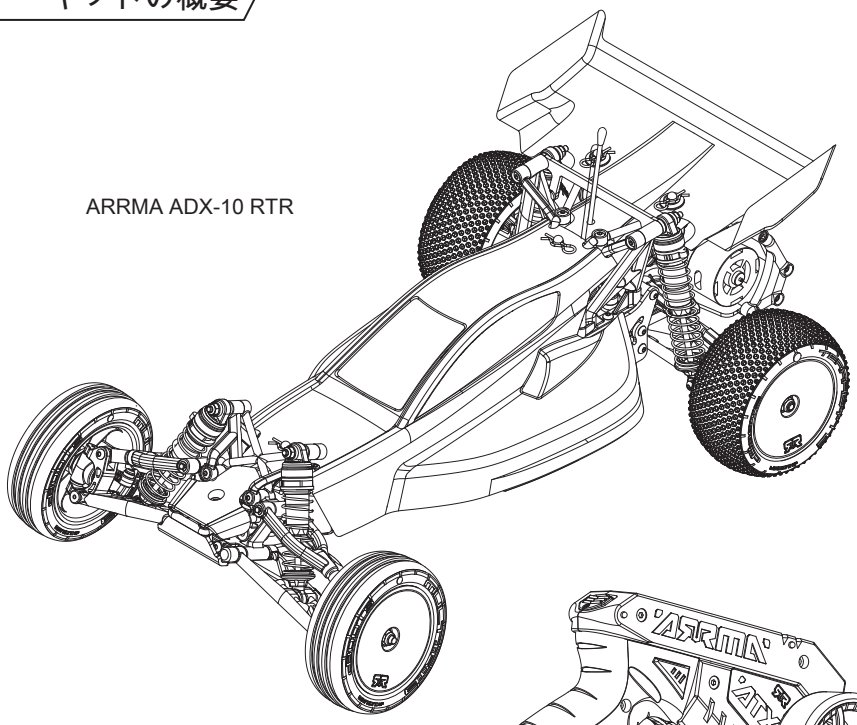
- 本製品は高性能 RC キットであるため、定期的にメンテナンスを行って頂く必要があります。当社のホームページ (ARRMA-RC.com) にはメンテナンスのアドバイスやアクセサリー情報が掲載されています。
- 本製品の操作を始める前にこの取扱説明書をよくお読みになり、キットやメカの仕組みをご確認ください。
- 本製品は公道、人や動物の近く、狭い場所では絶対に走行しないでください。大きな事故やケガ、物的損害が発生する恐れがあります。
- すべてのナットやネジがしっかり締められていることをご確認ください (特にホイールナットは使用前後に必ず毎回ご確認ください) 。
- 常に損傷のない新品のバッテリーを十分に充電してからご使用ください。不良バッテリーを使用されると、ノーコン、ショート、また最悪の場合には発火の原因となります。

保証についての

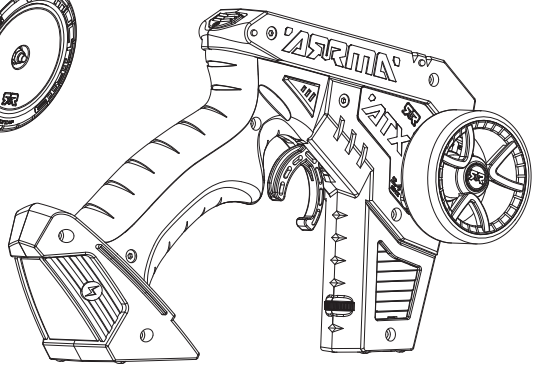
安心してご使用いただく為に ARRMA は本製品に対し、2 年間の製品品質不良及び工場での組立不良に対する保証を提供いたします。保証条件等の詳細につきましてはオンライン ARRMA-RC.com/GO 内のウェルカムパックに記載されておりますので製品のご使用前にご確認ください。

キットの概要

キットの概要



ARRMA ADX-10 RTR

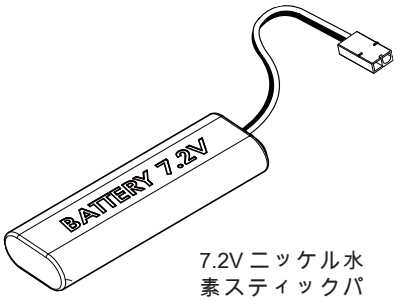


ARRMA ATX 2.4Ghz
プロポ

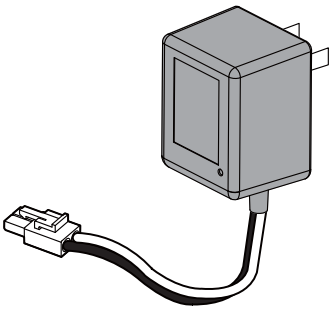
US Design Patent application
no. 29/384 679

Community Design No:
001258180-0001-0002

Kit #102112
Kit #102122
Kit #102132



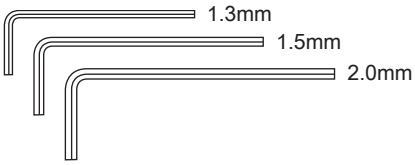
7.2V ニッケル水素スティックパックバッテリー



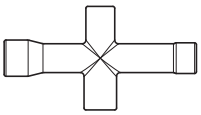
プラグタイプ充電器

キット付属品

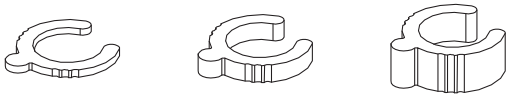
六角レンチ



クロスレンチ



ショック プレロードスペーサー

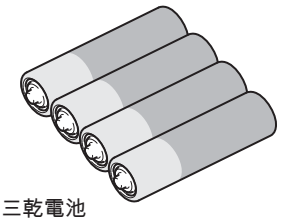


1mm x 4

3mm x 2

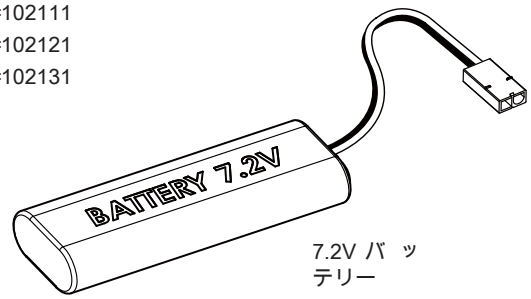
7mm x 2

別途ご用意頂くもの



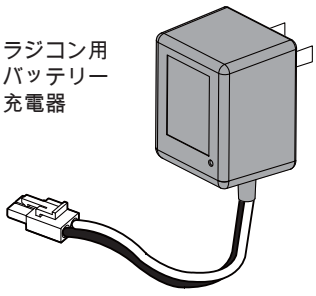
単三乾電池
（４本）

Kit #102111
Kit #102121
Kit #102131

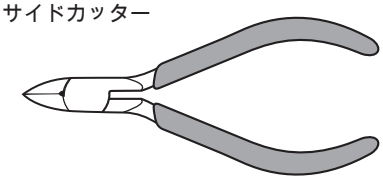


7.2V バッテリー

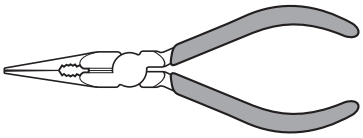
ラジコン用バッテリー充電器



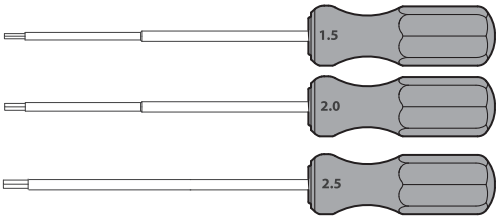
サイドカッター



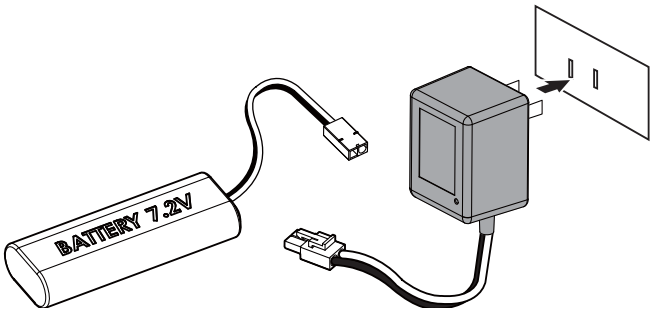
ラジオペンチ

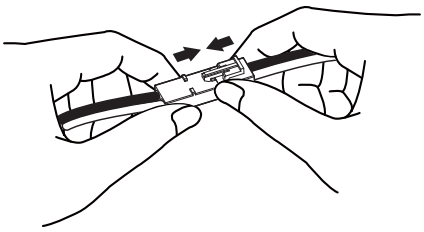


六角レンチ



バッテリーの充電

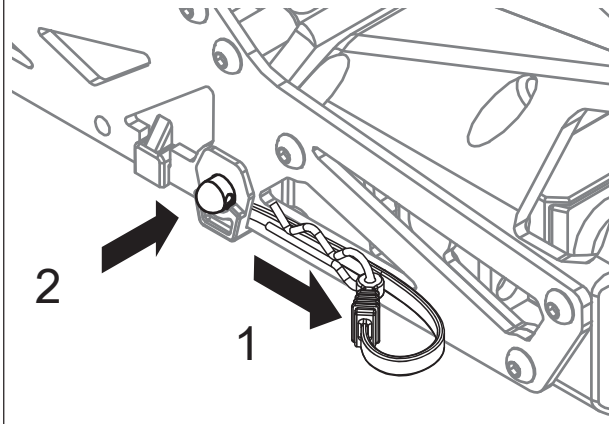




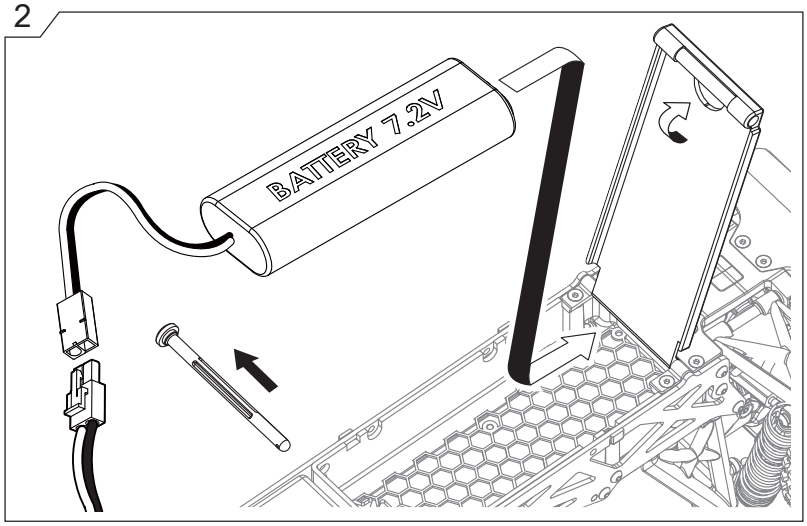
例： 7.2V 1500mah@150mah = 10 時間

バッテリーの装着

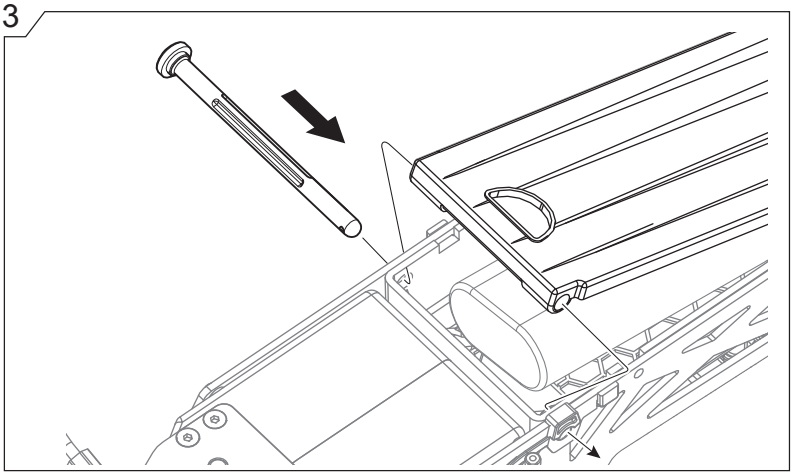
1



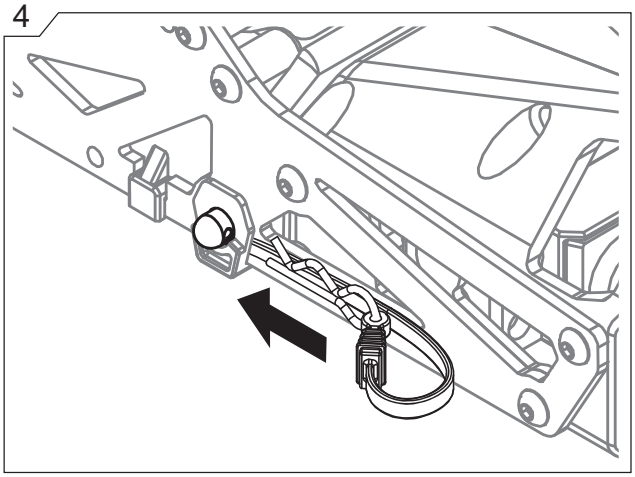
2



3

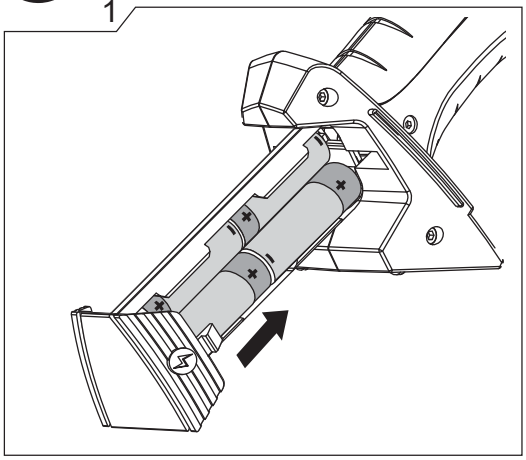


4

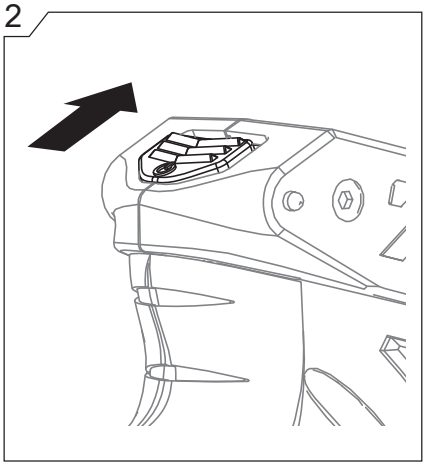


走行前の確認事項

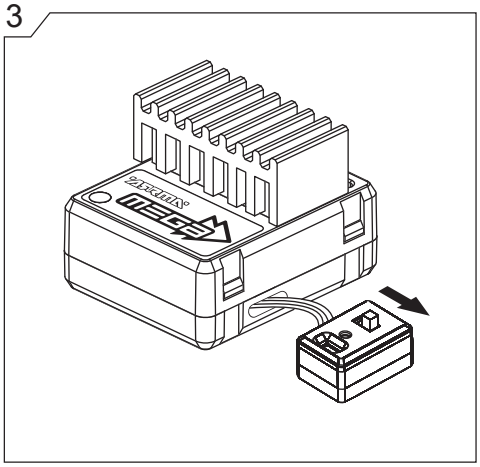
1



2

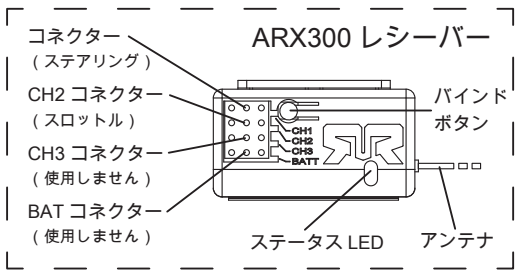


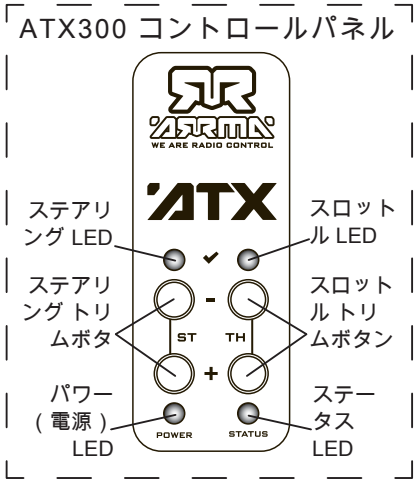
3

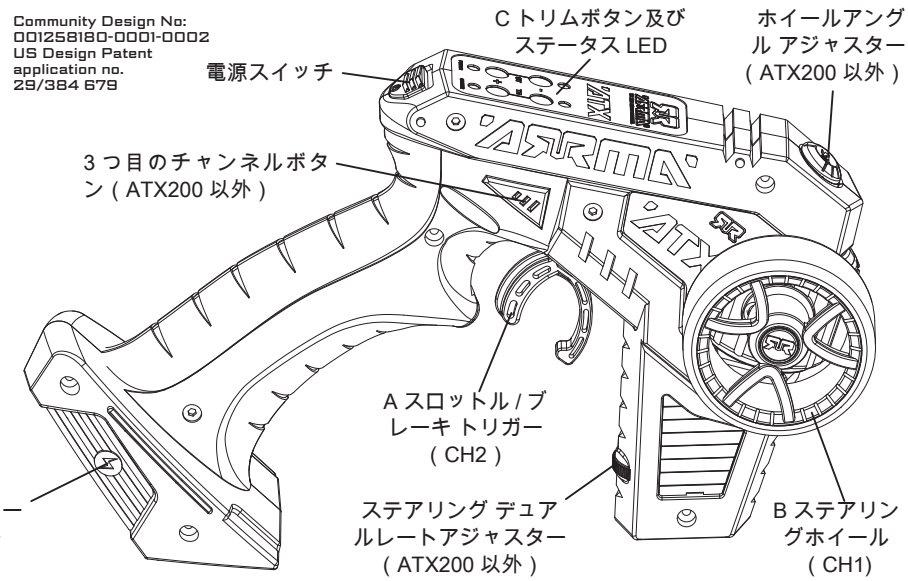


ARRMA 送受信機

ARRMA ATX 2.4Ghz プロポ







A でスロットルをコントロールします。手前に引くと前進し、反対に押すとブレーキが作動します。
B は通常のステアリングホイール（ハンドル）と同様に左に回すと左に曲がり、右に回すと右に曲がります。
C でステアリングとスロットルのニュートラルポイント（センター位置）の微調整が行えます。

Trade Mark : ARRMA
Model Name: 2.4G FH-TX-1
FCCID: ZWWFH24GTX1
Assembled from tested components
Complete system not tested

CONTAINS FCC ID: ZWWFH24GTX1
This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received; including interference that may cause undesired operation.

ARRMA ATX300
R 201XX00215000
WE ARE RADIO CONTROL

低電圧アラーム

プロポの電源が入ったまま、ステアリング又はスロットルの入力が 10 分以上ない場合、ゆっくりとしたビープアラーム音が鳴りはじめます。
電源を切るとアラームが鳴りやみます。プロポのバッテリー電圧が 4.8V を下回ると、速いスピードのビープアラーム音が鳴り、パワー（電源）LED が点滅します。満充電のバッテリー 4 個と交換するとアラームが鳴りやみます。注意：絶対に種類や使用時間の異なるバッテリーを混ぜて使用しないでください。出力範囲の減少やノーコンの原因になります。

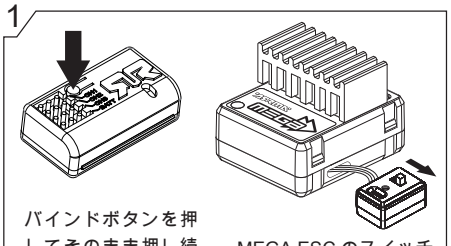
電池の安全指示

警告：誤った方法で使用すると爆発や火災の危険性があります。使用済のバッテリーを廃棄する場合には指示に従って廃棄してください。

1. ATX200/ATX300 プロポ（送信機）には 4 本の単三電池を使用してください。
2. バッテリーを火に近づけないでください。爆発の危険性があります。バッテリーは地域のルールに従って廃棄してください。
3. バッテリーは絶対に分解しないでください。万一分解すると内容物が飛散し、目や皮膚にダメージを与える場合があります。また誤って飲み込むと大変危険です。
4. バッテリーの取扱いには細心の注意を払ってください。指輪・ブレスレット・鍵等の金属が接触するとショートする危険性があります。バッテリーがショートすると発熱し、火災の危険があります。

送受信機のバインド作業

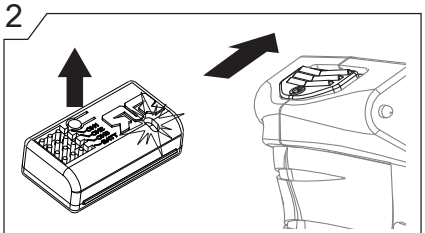
1



バインドボタンを押してそのまま押し続けてください。

MEGA ESC のスイッチを入れてください

2



バインドボタンを離してください。LED が点滅します。

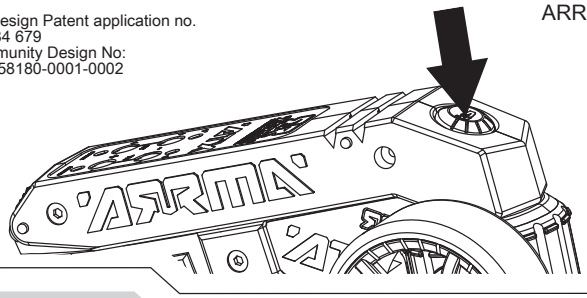
ARRMA ATX プロポの電源を入れます。

ARRMA プロポと受信機のバインドを始める前に、プロポと受信機の電源がオフで、プロポと受信機が 30cm 以内にあり、周囲に電波障害を引き起こすものがないことをご確認ください。

駆動輪が地面から離れていることを確認してください。受信機のバインドボタンを押したまま ESC の電源を入れると受信機がバインドモードとなり、緑のステータス LED が点滅します。プロポの電源を入れると、30 秒以内にバインド先の受信機を探知して受信機の LED が緑色に点灯します。

ホイールアングル（ATX200 以外）

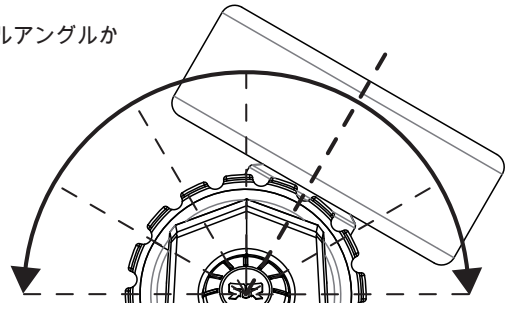
US Design Patent application no.
29/384 679
Community Design No:
001258180-0001-0002



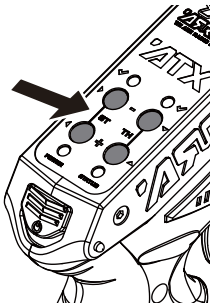
ARRMA ATX300 は 7 つのホイールアングルからお選び頂けます。

1. ホイールアングルアジャスターボタンを押して、そのまま押し続けてください。

2. ホイールをお好みの角度に調整します。

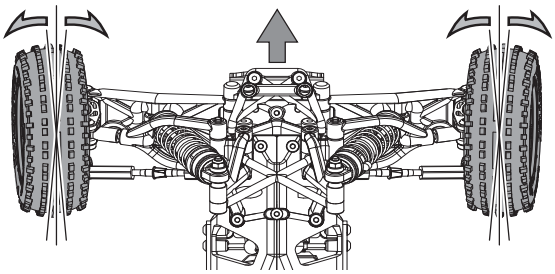


ステアリング / スロットル トリム

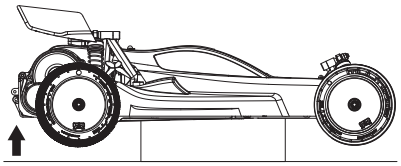


前輪が地面に着かないように車を置いてください。ホイールを真上から見て、ARRMA プロポのステアリングトリムを使用し、マシンが直進するように調節してください。トリム操作の際、トリムがニュートラル (中立) に近ければ短いビープ音が鳴り、よりエンド側 (端) に近づくほど長いビープ音が鳴ります。

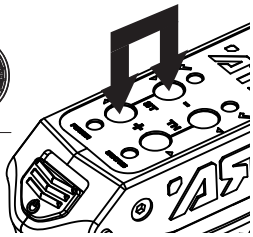
スロットルトリムの調整は、スピードコントローラーの電源を切り、ARRMA ATX プロポ上部のスロットルトリムボタンを調整して、速いダブルビープ音が聞こえるポジションにセットしてください。(ゼロ / ニュートラル位置となります)。逆にトリムのトラベルエンド (端) に近づくとゆっくりとしたビープ音が鳴ります。



ステアリング / スロットル チャンネルのリバース設定



スロットルチャンネルをリバース (逆) にする前に、ホイールを地面から離してください。

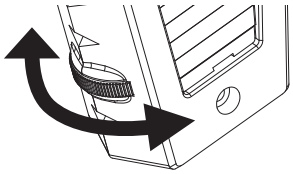


ステアリング動作が逆の場合 (例えば、ステアリングを左に操作すると右に切れる)、トップパネルにある両方のステアリングトリムボタンを押し続けると、長いビープ音が鳴ってステアリング LED が点灯し (既に点灯していた場合は消灯します)、チャンネルがリバース (逆) になったことを知らせます。

スロットルチャンネルをリバース (逆) にする場合、まず ESC の電源が入っていて、マシンのホイールが地面から離れていることを確認してください。その後、長いビープ音が鳴り LED が点灯するまで (既に点灯していた場合は消灯するまで)2 つのスロットルボタンを押し続け、スロットルチャンネルを (リバース) 逆にしてください。

最後に、ESC の電源を一度切ってから再度電源を入れると、ESC が自動的に新しいスロットルポジションを探知します。

デュアルレートの調整

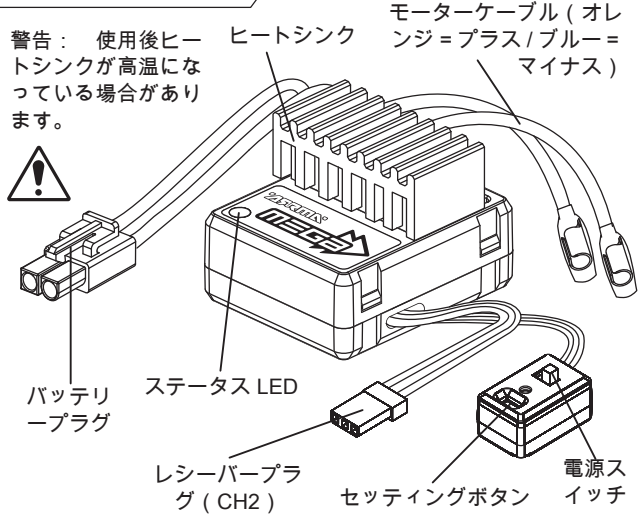


ARRMA ATX プロポ前面のデュアルレートアジャスターでステアリングの感度調整が行えます。デュアルレート調整は、高速走行時やステアリングを大きく切った際にマシンのコントロールが効かなくなるようなトラクションの非常に少ない路面で有効です。

ステアリングデュアルレートを下げる場合は、ARRMA ATX プロポ前面のアジャスターを左に回します。 10 段階の調整が可能で、調整を行う度にビープ音が鳴ります。調整が終わると長いビープ音が鳴ります。アジャスターを右に回すとステアリングデュアルレートが上がります。調整が終わると長いビープ音が鳴ります。

ESC (スピードコントローラー)

概要と調整



MEGA ウォータープルーフ ESC (スピードコントローラー) は ARRMA 用に開発されたブラシモーター専用 ESC です。 7.2V ニッケル水素バッテリーで使用する為に自動セットアップ機能を搭載しており、メンテナンスフリー設計です。 MEGA ウォータープルーフ ESC はステータス LED を搭載しており、ESC や送受信機が正しく機能しているか確認する事が可能です。各 LED 表示の内容の意味を下記のチャートでご確認ください。

ライト	意味
緑の点灯	プロポシグナルがニュートラル (中立) と検出された。
緑の点滅	プロポ (送信機) からの信号を受信できない。プロポの電源を入れ、受信機をご確認ください。
赤い急速点滅	前進シグナルが検出された。
赤い低速点滅	後進 / ブレーキシグナルが検出された。
赤い点灯点灯	全速前進 / 全速後進シグナルが検出された。

ヒートプロテクト (高温保護)： モーターやスピードコントローラーの温度が上がり過ぎると、MEGA スピードコントローラーは断続的に止まり、正常な走行ができなくなります。ヒートプロテクトが作動した場合は、使用を中断し冷却してください。

バッテリーモード： Lipo バッテリーや LiFe バッテリーは特に注意が必要です。これらのバッテリーは電圧を一定以上に保つ必要があります。放電し過ぎるとバッテリーが破損し、最悪の場合使用できなくなります。必要以上の放電を防ぐため、これらのバッテリーをご使用の場合は MEGA ESC を必ず適切なバッテリーモードに設定してください。

バッテリータイプ	電圧カットオフ
自動	70%
NiMh (7.2v)	5.4v
LiPo (7.4V)	6.0v
LiFe (6.6v)	4.8v

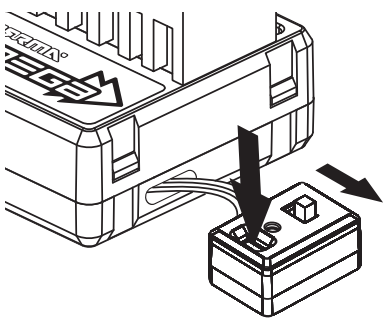
適切なバッテリーモードに設定すると、バッテリー電圧が一定量を下回った際に自動的に停止します。MEGA ウォータープルーフブラシ ESC での設定は上記のチャートを参照してください。適切なバッテリーモードに設定した方がオートモードでの走行より安全で高性能をお楽しみいただけます。

バッテリーモードの調整を行う場合は MEGA ウォータープルーフ ESC をアジャストメントモードにしてください。これにより、ESC の性能パラメーターの一部をお好みの走行スタイルにセッティングすることも可能です。

Mega ESC アジャストメントモード

GOFORIT-RC.com のフォーラムには MEGA ウォータープルーフ ESC のセッティングに関するアドバイスが掲載されています。

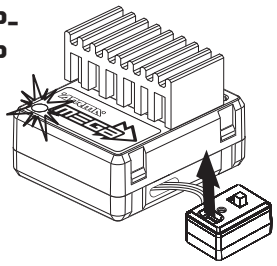
1



ARRMA ATX プロポの電源を切り、セッティングボタンを押したまま MEGA ウォータープルーフ ESC の電源を入れます。

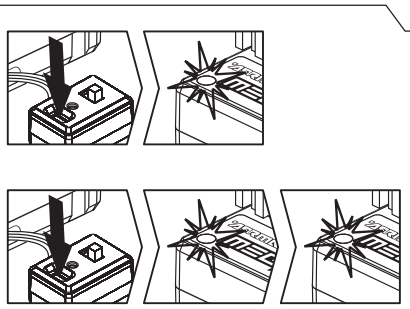
2

BEEP-
BEEP-
BEEP



ESC から 3 回ビープ音が鳴ります。セッティングボタンを離すと ESC ステータス LED がゆっくり赤色に点滅し、モードセレクションが選択されます。

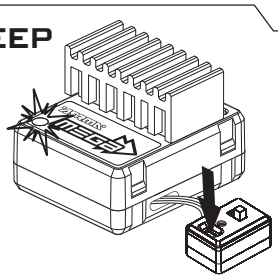
3



赤色の点滅の数は選択したモードを示します (以下のチャート参照)。セッティングボタンを押すとモード選択が変わります。

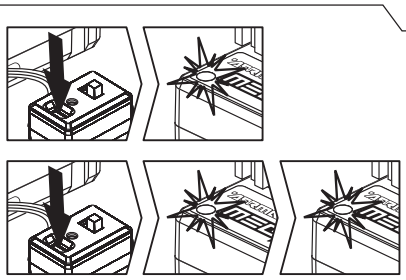
4

BEEEEP



ご希望のモードに変更後、再度セッティングボタンを押して押し続けます。ESC のステータス LED が緑色に点滅し、アジャストメントが選択されます。

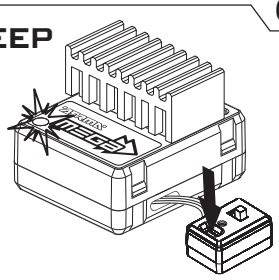
5



緑色の点滅の数は選択モードの現在のセッティングを示します。セッティングボタンを押すと別の調節が順に表示されます (以下のチャート参照)。

6

BEEEEP



お好みのセッティングを選択した後、セッティングボタンを押して押し続けます。ESC からビープ音が鳴り、ステータス LED がゆっくりと緑色に点滅します。プロポの電源を入れると設定は完了します。

モード選択

赤い LED が点滅	意味
✷	リバーススピード
✷ ✷	初期アクセレーション / パンチ
✷ ✷ ✷	ニュートラルブレーキ
✷ ✷ ✷ ✷	バッテリーモード

アジャストメント セレクション

緑の LED が点滅	✷	✷✷	✷✷✷	✷✷✷✷
リバーススピード	オフ	ロー (低い)	ミディアム (中間)	ハイ (高い)
初期アクセレーション	(標準)	ロー (低い)	ミディアム (中間)	ハイ (高い)
ニュートラルブレーキ	オフ	ロー (低い)	ミディアム (中間)	ハイ (高い)
バッテリーモード *	自動	7.2v Ni-Mh	7.4v Li-Po	6.6V Li-Fe

* 適切なバッテリーモードに設定した方がオートモードより安全で高性能です。

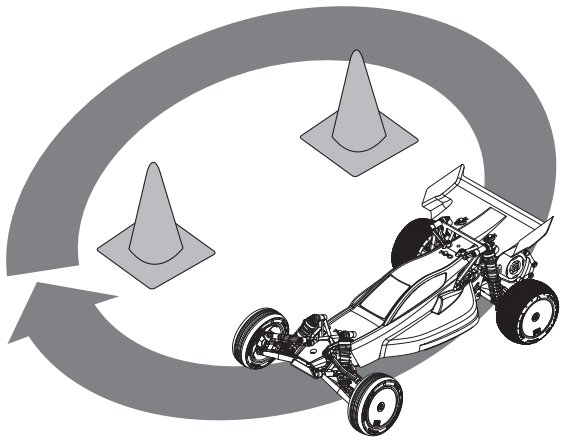
ARRMA ESC ファクトリーセッティング

調整	セッティング	緑の LED が点滅
リバーススピード	ミディアム (中間)	✷✷✷✷
初期アクセレーション	(標準)	✷
ニュートラルブレーキ	オフ	✷
バッテリーモード	自動 /NiMh	✷/✷✷

ARRMA MEGA ウォータープルーフ ESC の初期設定はチャートの左側に掲載されています。

ESC は通常オートやニッケル水素バッテリーモードに設定されます。必ず、ご使用されるバッテリータイプと同じバッテリーモードを選択してください。

走行の基本事項



ARRMA のマシンはすぐに走行をお楽しみ頂けるように設計されておりますが、その高性能を十分に堪能する為には、事前にハンドリングに慣れていただくことが重要です。

本製品を初めて走行される際は、広くて平らな地面のある公園等で走行してください。必ず周囲に危険物や人、動物がいない場所をお選びください。

最初は大きな円を描いてゆっくり走行し、徐々にスピードを上げてハンドリングに慣れるようにしてください。マシンの反応に注意しながら円の大きさやスピードを変えて走行させます。様々な操作を行い、スロットルやステアリングの反応をお試しください。マシンがスライドを始めた場合には後部にご注意ください。マシンがスライドする場合にはカウンターステアをあててスロットルを入れるか、スロットを緩めてマシンを止めてください。

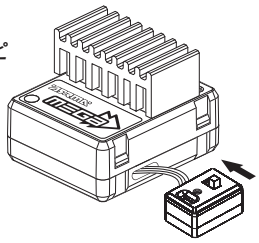
急カーブをステアリングを切りながら走り続けることは簡単なようですが、スピードが速いと困難です。コーナリングの際はカーブに入る前にスピードを落とし、曲がっている間はその速度を維持します。カーブの出口が近付いたら加速してカーブを抜けます (スローイン・ファーストアウト)。

基本的な走行テクニックを習得し、マシンに慣れる事が出来れば、いよいよその高性能を全開走行で十分にお楽しみください。また、皆様の走行の模様をビデオに収めて GOFORIT-RC.com 内の GO FOR IT ！フォーラムに送信して、世界中のユーザーに披露してください！

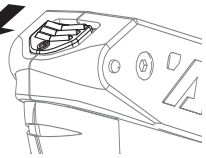
走行後の確認事項

1

A. MEGA スピードコントローラー (ESC) の電源を切る。

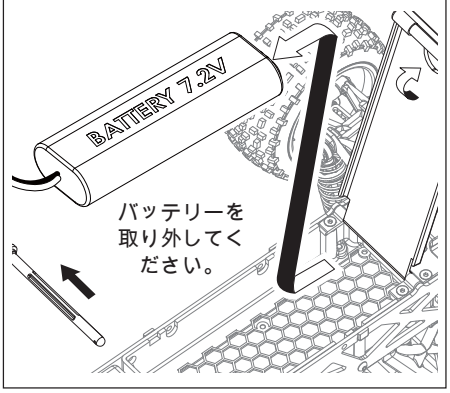


B. ARRMA ATX プロポの電源を切ってください。



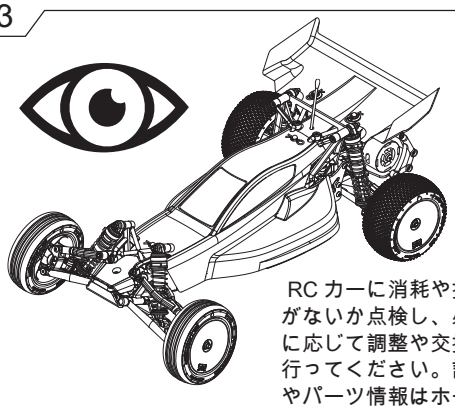
2

警告： バッテリーが高温になっている場合があります。



バッテリーを取り外してください。

3

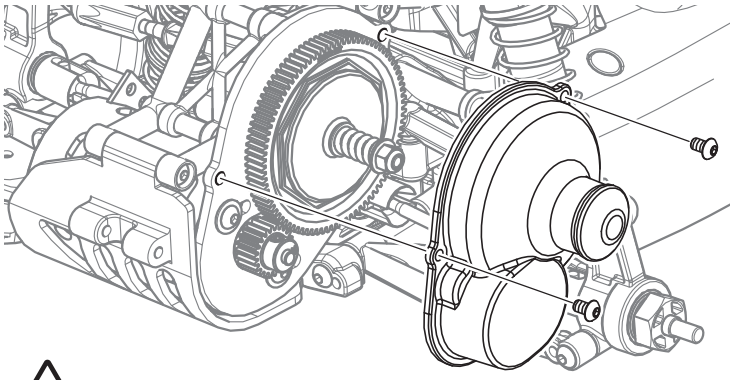


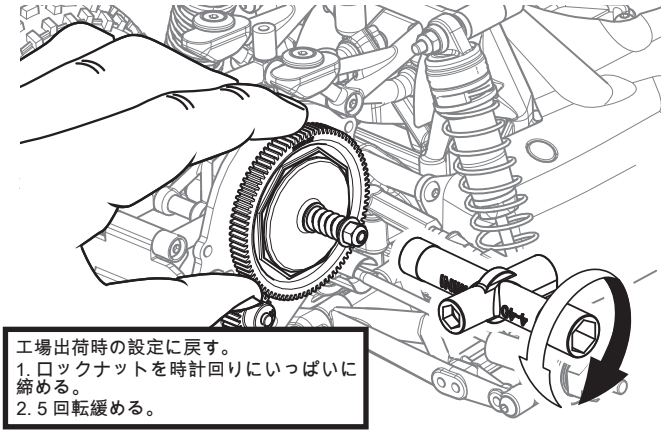
RC カーに消耗や損傷がないか点検し、必要に応じて調整や交換を行ってください。詳細やパーツ情報はホームページ (ARRMA-RC.com)をご覧ください。

基本的なメンテナンス - この他のメンテナンスについてはホームページ (ARRMA-RC.com) をご覧ください。

スリッパークラッチのセットアップ

スリッパークラッチの機能は、ギヤボックスやデフ、モーターを衝撃から守り、加速時にモーターからのトルク伝達を調整し、路面状況に応じた走行を行うことです。走行後にスリッパークラッチが緩過ぎる場合は 1/4 回転締めます。





工場出荷時の設定に戻す。
1. ロックナットを時計回りにいっぱいに締める。
2. 5 回転緩める。

警告： スリッパーが緩いとスリッパーパッドが損傷してしまいます。 スリッパーを締め過ぎると、トランスミッションが損傷する場合があります。

路面状況	スリッパークラッチ	特性
滑りやすい	緩める	スムーズなパワー伝達コントロールしやすい
ハイグリップ	締める	速いスロットルレスポンス ウィリーが多過ぎる場合はスリッパークラッチを緩めてください。

シャーシのメンテナンス

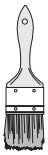
車の汚れを取り除きます (シャーシ右側のクリーニング時には特に注意を払ってください)。

駆動系、サスペンション、ステアリング周りの汚れをしっかり取り除いて、注油を行い、自由に動くようにします。

すべてのネジがしっかり締められていることを確認してください。

タイヤとホイールの状態を確認します。

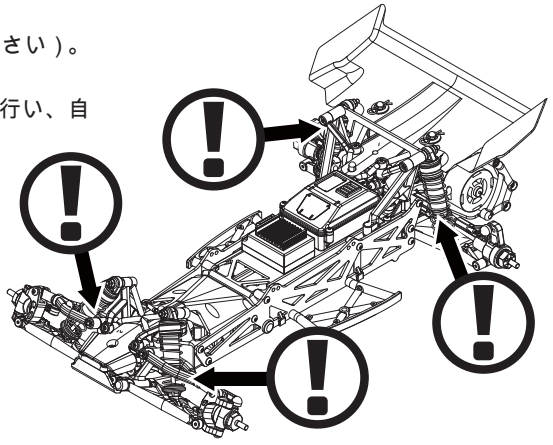
布切れ又はクリーナータオル



ブラシ

オイルスプレー

自動車用ブレーキクリーナー、またはナイトロカークリーナー



サポート情報

お客様には本製品の走行をお楽しみ頂き、できる限り簡単に高性能 RC にアップグレードして頂きたいと思います。ARRMA 製品の走行、メンテナンス、チューニング、修理でご質問がある場合、当社では以下の 3 つの方法でアドバイスをご提供しております。

キットのサポートやパーツ、アップグレードについてはホームページ (ARRMA-RC.com) をご覧ください。GO FOR IT は世界中の ARRMA ユーザーのためのフォーラムで、他の ARRMA ユーザーの情報が掲載されており、ARRMA 製品についてのアドバイスが得られます。ホームページやフォーラムでお探しの情報が見つからない場合は当社までＥメールでお問い合わせく ださい (support@ARRMA-RC.com)。

ARRMA-RC.COM

GOFORIT-RC.COM

SUPPORT@ARRMA-RC.COM

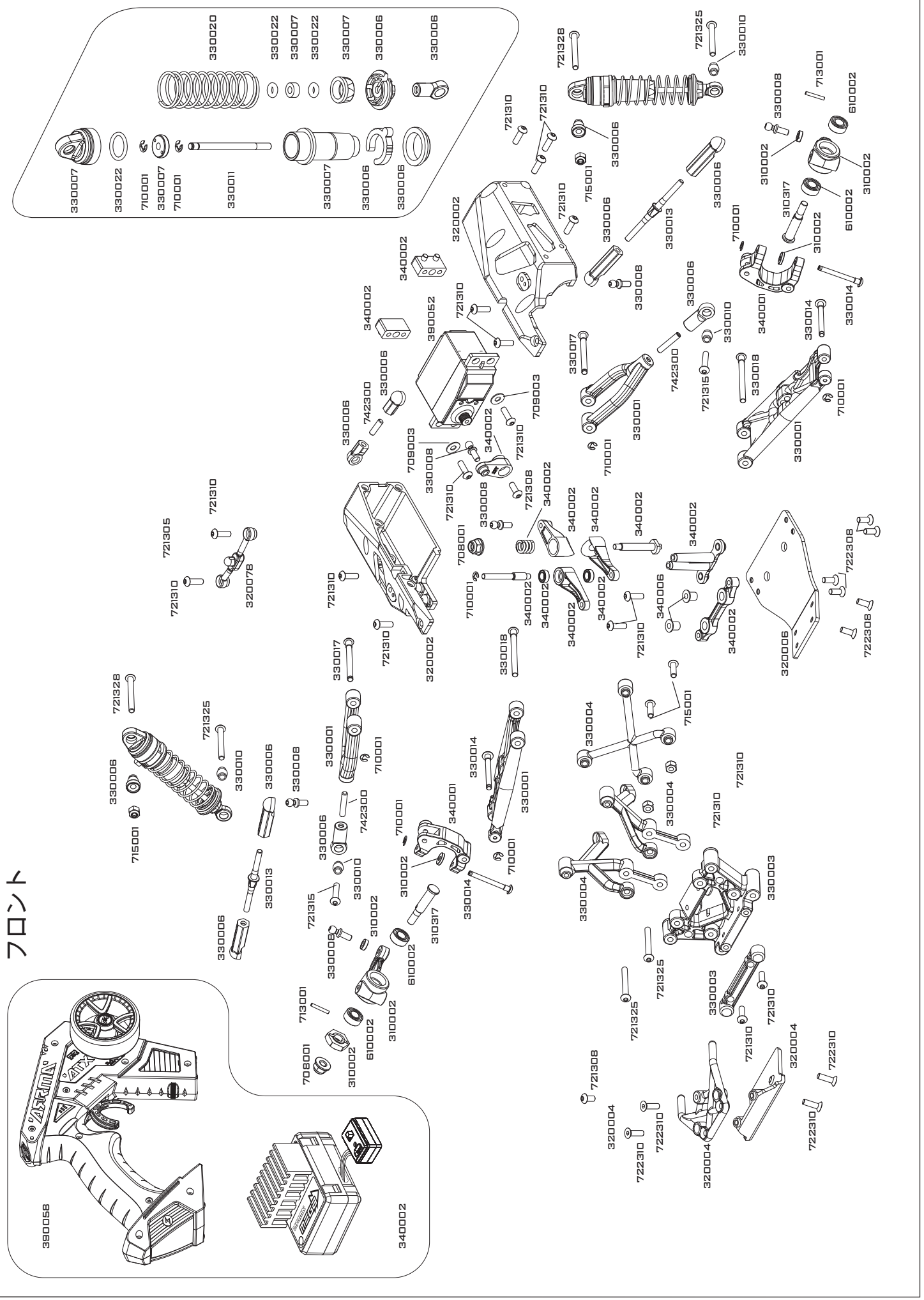
基本的なトラブルシューティング - 詳細はホームページ (ARRMA-RC.COM) に掲載されているサポートページとフォーラムをご覧ください。

トラブルシューティング表

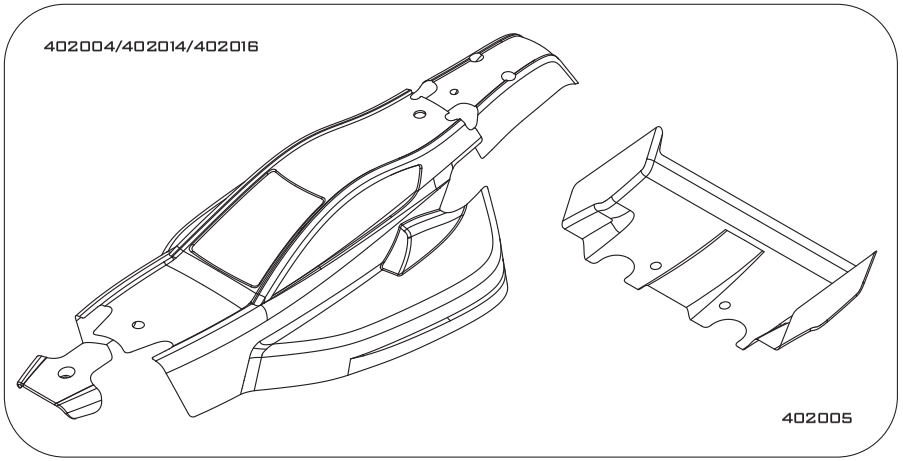
問題	考えられる原因、	対策
車が動かない。	ARRMA ATX プロポのバッテリーが正しく装着されていない。	プロポバッテリーを確認し、再度装着してください。(取扱説明書の P.37 をご覧ください)。
	走行用バッテリーの充電不足や損傷、または走行用バッテリーが装着されていない。	十分に充電した新品のバッテリーを装着してください (詳細は取扱説明書の P. 37 をご覧ください)。
	モーターの故障、スピードコントローラーのワイヤーの擦り切れや断線。	状態を確認し、再度接続して絶縁します。GO FOR IT! フォーラムにはアドバイスが掲載されています。
	スピードコントローラーがオーバーヒートして停止した。	走行を止め、スピードコントローラーやモーターを冷却してください。
	MEGA モーターの損傷。	新品と交換してください。アドバイスやアップグレード製品についてはホームページ (ARRMA-RC.com) をご覧ください。
	MEGA ウォータープルーフ ESC の損傷。	新品と交換してください。アドバイスやアップグレード製品についてはホームページ (ARRMA-RC.com) をご覧ください。
	トランスミッションや駆動系パーツの損傷。	部品を確認し、交換してください。ホームページ (ARRMA-RC.com) のアドバイスをご覧ください。
	バッテリー保護のために ESC 低電圧カットオフが作動した。	バッテリーを取外し、必要に応じて十分自然冷却してから再充電してください。
マシンがバック (リバース) しない。	ESC のリバースモードがオフになった。	MEGA ウォータープルーフ ESC のリバースを調節してください。本取扱説明書の P40 をご確認ください。
	MEGA ウォータープルーフ ESC の損傷。	新品に交換してください。アドバイスやアップグレードについては ARRMA-RC.com をご覧ください。
走行時間が短い。	バッテリーの損傷または充電不足。	状態を確認し、交換するか、再充電してください。
	MEGA モーターの汚れや損傷。	汚れを取り除いて状態を確認し、必要に応じ交換してください。詳細はホームページ (ARRMA-RC.com) をご覧ください
	誤った ESC バッテリーモード。低電圧カットオフで設定された電圧が使用中のバッテリーには高過ぎる。	MEGA ウォータープルーフ ESC のバッテリーモードを調節してください。本取扱説明書の P40 をご確認ください。
パフォーマンスの不調・遅い。	バッテリーの損傷または充電不足。	状態を確認し、交換するか、再充電してください。
	MEGA モーターの汚れや損傷。	汚れを取り除いて状態を確認し、必要に応じ交換してください。詳細はホームページ (ARRMA-RC.com) をご覧ください。
	駆動系パーツの汚れや損傷。	汚れを取り除いて状態を確認し、必要に応じ交換してください。詳細はホームページ (ARRMA-RC.com) をご覧ください。
	MEGA ウォータープルーフ ESC の初期アクセレーションモードやリバーススピードの設定が低過ぎる。	MEGA ウォータープルーフ ESC のセッティングを変更してください。本取扱説明書の P40 をご確認ください。
	ARRMA ATX プロポのスロットルトリムの誤った設定。	スロットルトリムをゼロ / ニュートラルに設定してください。本取扱説明書の P38 をご確認ください。
マシンまたは電波の届く範囲が狭い。	ARRMA ATX プロポ用バッテリーの充電不足や誤った装着。	プロポバッテリーを確認し、再度装着してください。(取扱説明書の P.38 をご覧ください)。
	サーボやスピードコントローラーの BEC ケーブル (ARX 受信機に接続されるケーブル) の緩みや誤った接続。	再度 BEC ケーブルを受信機に接続して本取扱説明書の P38 ~ P39 をご確認ください。
	ARRMA プロポと受信機がバインド (連携) していない。	プロポと受信機をバインドしてください。本取扱説明書の P38 をご確認ください。
ステアリング / スロットルの動作が断続的。	オーバーヒートで ESC が作動を停止した。	走行を止め、ESC やモーターを冷却してください。
	ARRMA のプロポと受信機が十分にバインドしていない、または電波障害。	ノーコンの原因を確認し、送受信機を再度バインドしてください。本取扱説明書の P38 をご確認ください。
ステアリングを操作しなくてもマシンにふらつく。	ステアリングトリムの誤った設定。	ステアリングトリムを調整してください。(本取扱説明書の P.38 をご確認ください。
	ステアリングパーツの損傷。	部品を確認し、交換してください。ホームページ (ARRMA-RC.com) のアドバイスをご覧ください。
	駆動系の汚れや損傷。	汚れを除去して状態を確認し、必要に応じて交換してください。詳細は ARRMA-RC.com をご覧ください。
ステアリングやスロットルが操作に対して逆に動く。	関連した ARRMA ATX プロポのチャンネルがリバース (逆) になっている。	ARRMA ATX プロポで該当するチャンネルをリバース (逆) にしてください。本取扱説明書の P38 をご確認ください。
	スピードコントローラーとモーターをつなぐワイヤーの接続をご確認ください。	正しい色同士で再接続してください (オレンジはレッドへ、ブルーはブラックへ)。しっかりと装着されている事をお確かめください。 接続が緩い場合、ラジオペンチ等でメスコネクターをしっかりと絞ってください。
ステアリングアングルが限定されている。	ARRMA ATX プロポのステアリングデュアルレートが誤って設定されている。	ARRMA ATX プロポデュアルレートを調整してください。本取扱説明書の P38 をご確認ください。
	ステアリング周辺パーツの損傷。	部品を確認し、必要に応じて交換してください。アドバイスについては ARRMA-RC.com をご覧ください。

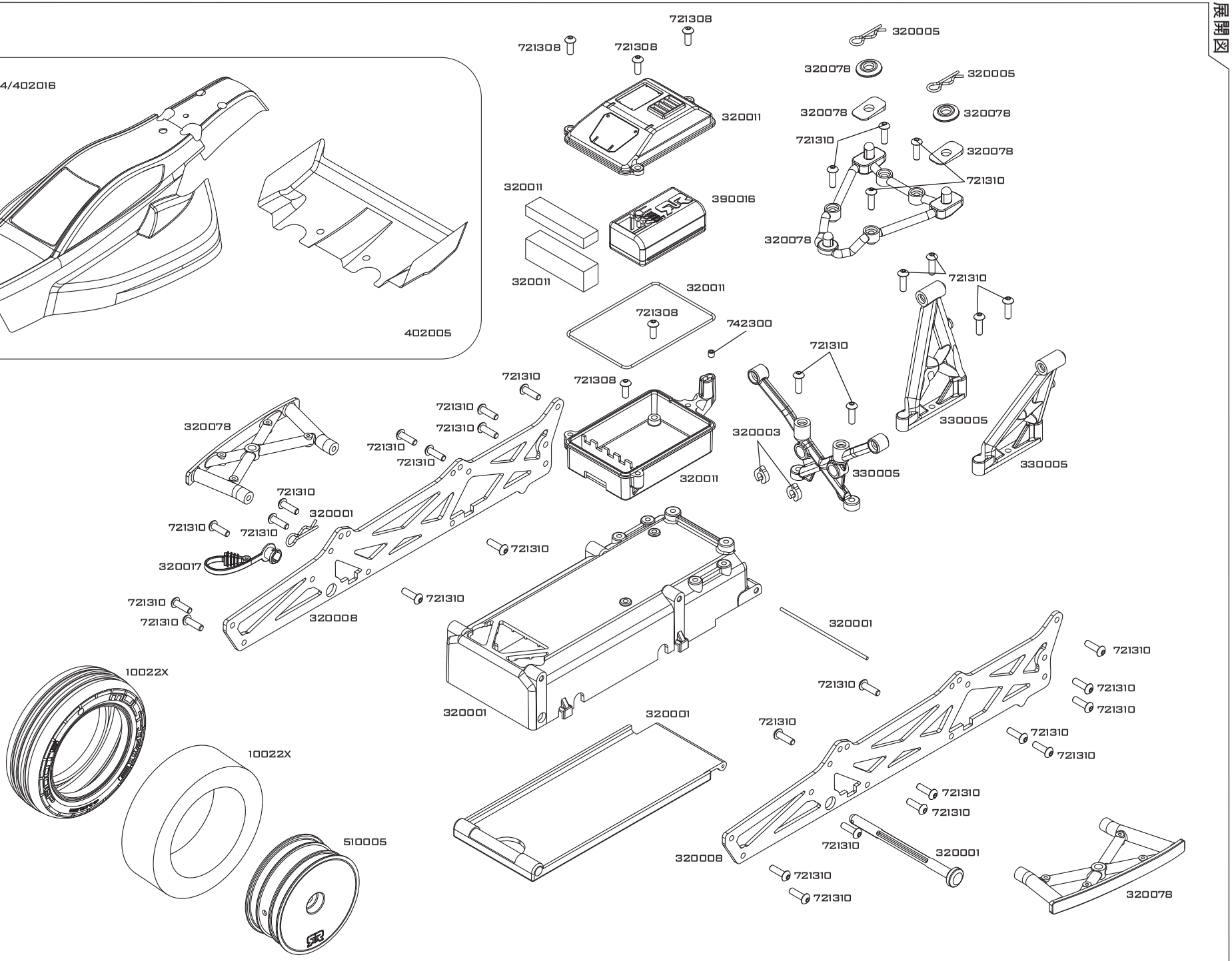
GO FOR IT! は世界中の ARRMA ユーザーのコミュニティーです。世界中の ARRMA ユーザーと交流ができ、以下の情報にもアクセスできます。

- キットの可能性を最大限発揮するコツとテクニック
- 近日発売予定のキットやアップグレードパーツの紹介
- Readers rides では皆様のキットや走行スキルの画像やビデオを公開して頂けます。

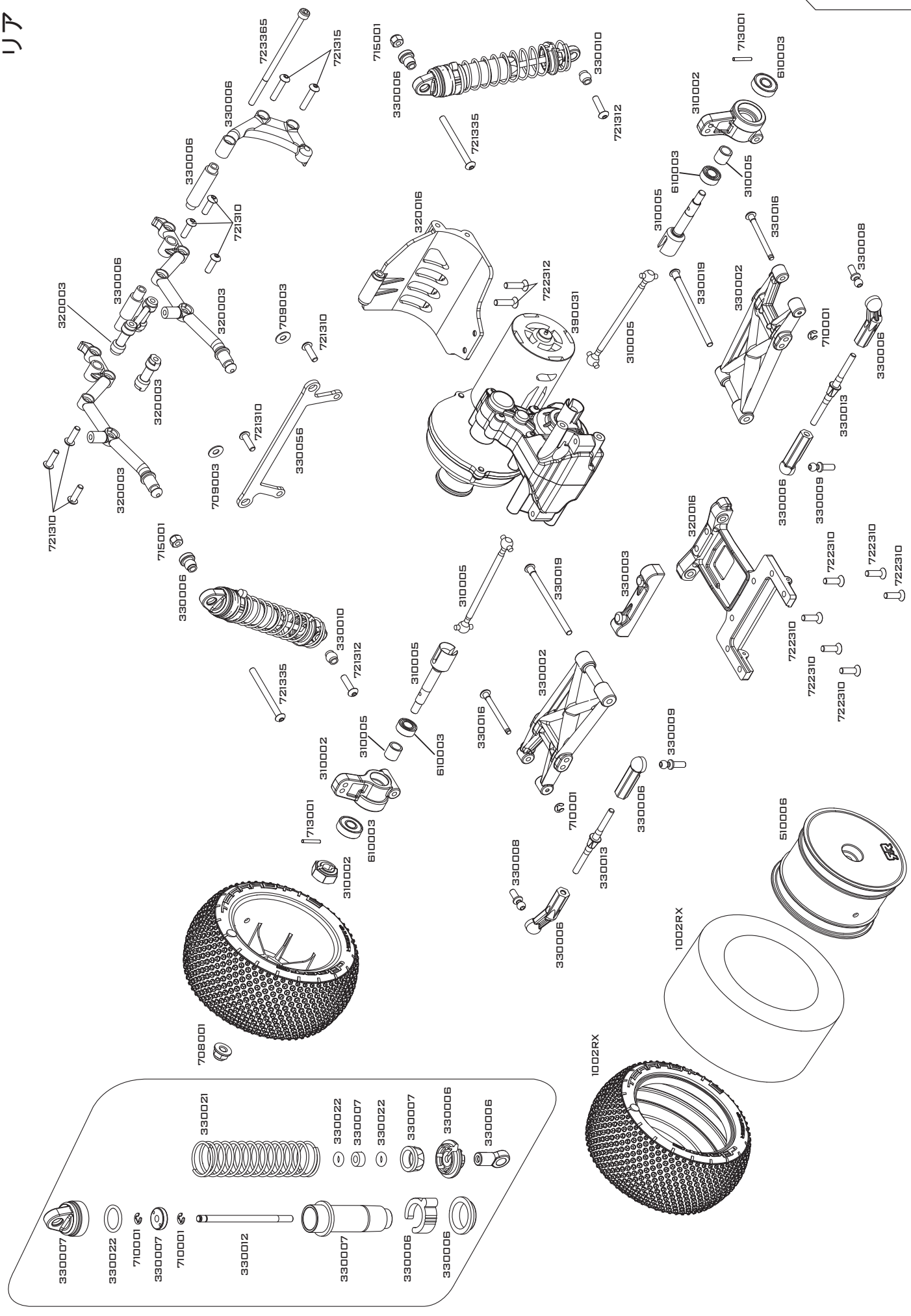

フロント
330020
330022
330007
330022
330007
330006
330006
330007
330022
330007
710001
330007
710001
330011
330007
330006
330006
721328
721325
330010
330008
330006
330006
715001
330013
330006
721310
721310
721310
715001
330006
330008
330006
330013
330006
710001
330008
330006
330014
330010
330017
742300
721315
330018
330001
330001
710001
330014
340001
330001
330001
710001
340002
340002
340002

センター


402004/402014/402016
402005


721308
721308
721308
320005
320078
320005
320078
320078
320078
721310
721310
320078
721310
320011
390016
320011
320011
320011
721308
742300
721310
721310
330005
330005
721310
721308
320078
721310
721310
721310
721310
721310
320003
330005
320011
721310
320001
721310
721310
320017
721310
721310
320008
721310
721310
320001
320001
721310
721310
721310
721310
721310
721310
721310
721310
721310
320001
320008
721310
721310
320078
10022X
10022X
510005

リア


723365
721315
330006
330006
330006
721310
320003
330006
320003
320003
320003
721310
721310
709003
721310
330056
709003
721310
715001
330006
330010
721312
721335
320016
722312
390031
715001
330006
330010
721312
721335
713001
610003
310002
330006
330006
721310
320003
320003
320003
721310
709003
721310
330056
709003
721310
320016
722312
390031
310005
330019
330002
330016
310005
610003
310002
610003
713001
310005
330019
330002
330016
330008
330006
330013
710001
330006
330009
722310
722310
722310
722310
722310
722310
320016
330003
330006
330009
330013
710001
330006
330008
330006
330006
330008
330013
710001
330006
330009
722310
722310
722310
722310
722310
722310
330003
320016
310005
330019
330002
330016
310005
610003
310002
610003
713001
310005
330019
330002
330016
330008
330006
330013
710001
330006
330009
722310
722310
722310
722310
722310
722310
330003
320016
330006
330009
330013
710001
330006
330008
330006
330006
330008

ギアボックス

390031
721312
742300
310062
721315
721312
310001
610002
310010
310010
310011
310018
310021
310018
310011
709003
715001
310011
709003
320009
721305
320009
721305
610002
310001
310010
310010
610002
310001
310003
610002
310001
320007
709003
721305
722308
722308
610001
310008
310003
310009
310009
310009
310009
310009
310009
310009
310009
310009
310009
310009
310009
310003
310009
310008
610001
310003
310003

ARRMA-RC.COM

© 2011 d Radio Control Ltd. All Rights Reserved.